

① 発達が気になる子どもの指導・支援について考えてみましょう

園長先生、私のクラスのAさんが、指示を聞かずに自分勝手なことをしたり、教室を飛び出したりするんです。私、すごく困っているんです。



まあ、先生、それは大変ね。でもね、一番困っているのは、Aさんじゃないかしら。Aさん、何でそんなことをするのでしょうかね。みんなと一緒に楽しく活動していることもあるわよね。

何をするか、前もって話をしておいた時は、スムーズに活動に取り組めている気がします…。
あ！何をしたら良いかが分からないから、不安になってその場から離れたくなったり、他に興味が向いて違うことがしたくなったりするのもかも！



Aさんって、発達障害があるって保護者の方が教えてくださってたわね。問題行動の背景を考えると、障害の特性を知っておくことも大切ね。

Aさんのしんどさの背景を考えて、寄り添いながら「分かってできる」ように支援していくことが必要なんですね。



② 個別の教育支援計画^{※1}の作成・活用について



支援のアイデアが浮かんだようね！
こうして気づいたことや必要な支援は、保護者の方と相談しながら個別の教育支援計画や共通支援シート^{※2}に位置付けることが大切なのよ。

そうですね！他の先生とも情報共有できるし、就学先にも情報が引き継ぎますものね。Aさんにどんな個別の支援が必要か、よく考えてみます！



そういえば、特別支援教育は「個別の支援」だけではないって聞いたことがあるわ。
どういうことなのか、一緒に就学前支援コーディネーターの先生のお話を聞いてみない？

※1 障害のある子どもの教育的ニーズを的確に把握し、適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児から学校卒業後までを通じて一貫して的確な支援を行うことを目的として策定される計画のこと。

※2 個別の教育支援計画等を作成していない幼児の情報を小学校等に引き継ぐための文書のこと。